

子どもの命を地震からまもれ！

学校を含む31施設で耐震診断をやり直しに！

学校（園）施設、通学路の安全確保を！

校舎と体育館で耐震性が確保されていない！？

区議会第2回定例会で、学校施設を含む31施設で耐震診断をやり直すため、4億7300万円の補正予算が採決されました。

増改築工事計画が進む区立希望丘小学校で、既存校舎、体育館の耐震診断を行ったところ、必要な耐震性を満たしていないことが発覚。区が原因を調査したところ、平成7年から13年の期間と現在の診断方法が異なったためだとしています。希望丘小は平成7年に耐震診断を行い基準を満たしているとされた施設です。区は、平成7年から13年の間に耐震診断を行い耐震基準を満たしていると判断された施設31施設全てに対し、今年度中に耐震診断を行い、結果に応じて順次補強工事を行います。

党区議団は、区の迅速な対応を評価し、補強工事となった場合は子ども達の学習環境への影響を最小限に留める対応を求めました。

学校施設内のブロック塀の撤去に向け検討を！

大阪北部地震で、9歳の児童がブロック塀の下敷きとなって亡くなりました。直後に行われた区議会委員会では、日本共産党はじめ各会派から安全点検を求める声が上がりました。

区は、この事故を受け、区の施設（学校施設を含む）と通学路の緊急の総点検に取り組んでいます。

点検の結果、学校施設2カ所（代沢小、瀬田中）で建築基準法に違反したブロック塀が見つかり、すでに除去されました。現在、通学路の点検を学校毎に行っています。

私は、文教常任委員会で、現存する学校施設のブロック塀は、無くしていく事を検討すべきだと訴えました。区は、検討していくと答弁しました。



通学路の安全確保を！

ブロック塀、大谷石の塀が続きます。



こんにちは
たかじょう訓子です

日本共産党世田谷区議会議員

2018年7月号

連絡先

日本共産党世田谷区議団

〒154-0017

世田谷区世田谷4-21-27

tel :03-5432-2791

fax:03-3412-7480